

2018年7月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース  
The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

7 2018  
July  
No.276

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 森尾 裕志

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[30.6.1現在]

5,326名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会員ライフサポート部活動報告64報 P6▶新人教育プログラム  
P8▶研修会・講習会 P12▶第35回神奈川県理学療法士学会 P13▶会長行動報告 P14▶information P16▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言



# 多死社会へ向けて終末期医療における理学療法を考える

医療法人社団 康心会 湘南東部総合病院 リハビリテーション科 石川 秀太

2025年問題として日本は、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことの無い超高齢社会を迎えるとして取りざたされていますが、その先にあるのは「多死社会」です。

日本理学療法士協会グランドデザイン構想案において、病期を踏まえた疾患別理学療法モデルが示されており、「防ぐ」「治す」「支える」「和らげる」理学療法が提唱されています。その中で、終末期医療における理学療法の充実も進められており、緩和ケアにおけるリハビリテーションの役割として『QOLの向上を目的として、食事やトイレなどのセルフケアや移動などの日常生活動作をできるだけ自分でやれる時期を延ばしていくように援助すること』\*と示されています。また、終末期がん患者の理学療法は、機能およびADL維持目的として『がんによる、機能障害、能力低下が進行しつつある患者に対して、すばやく効果的な手段により、ADLや移動能力等を維持・向上させる』\*、緩和目的として『疼痛、呼吸困難感、浮腫の緩和により身体的・精神的・社会的にもQOLの高い生活が送れるように支援する』\*ことが目的とされています。

元々私自身は、急性期医療に携わっていましたが、がん患者様へ理学療法を提供する中で緩和ケア病棟の終末期医療にも関わるようになりました。当初は、緩和ケア病棟で会うたびに身体機能面が低下していく患者様を目の前に、自分の無力さを感じていました。そうした中で、担当していた方から「入院して天井ばかり見ていると毎日変なこと考えちゃうんだよね。日本人が年間130万人死ぬとすると、1年が365日だから毎日3千人以上死ぬことになるよね。そう考えると死は、意外と身近だと思わない？」と言われ、両親や自身の死について考えるようになりました。皆さんは『死』について考えたことはありますか？

看護教育においてはターミナルケアを学びますが、理学

療法教育では終末期医療の教育は無きに等しいのが現状です。もう取り戻すことのできない、その人の最期に理学療法士として何ができるのかと悩み大学院のドアを叩きました。臨床研究を進めて感じたことは、緩和ケアにおける包括的アプローチの一環として計画的な介入時間を組み運動療法を行うことにより、ADLの維持及び認知機能や社会的機能のQOL向上に寄与できるということです。排泄行動など最低限のセルフケアが維持されることは、その人の尊厳に関わる事です。快刺激により認知機能が保たれて物事を忘れないことは、家族や人との関わりを保ち社会性を維持できます。終末期においての運動療法は、心理的にも社会的にも満足感があり、そのことが生活の質の維持につながると考えられました。研究を継続する中で最期を迎える患者様もいました。その時ご家族から、直前まで会話され皆で笑い転げた直後に息を引き取り、「あの時なんで笑ったのか…。とにかく、最期に今までにはない、なんとも言えないくらい良い笑顔だった。ここに来て本当に良かった、本人も何度もそう話していた。」と言われ、理学療法士として支えてきた私自身が、この言葉や笑顔に支えられていると改めて気付かされました。

これは、がんや終末期医療だけに限りません。疾患や病期で患者様をとらえるのではなくその人自身を見て、常に患者様が望むものと理学療法士としての使命を考えることが大切だと思います。例えば、Demand「この痛みや呼吸苦しさを少しでも楽にしてほしい」に対する、Needとしての「ポジショニングや呼吸理学療法」、そしてその先にある「家族や最愛の人と共に笑いあえる瞬間」というHappinessを提供できれば、理学療法士として冥利に尽きるのではないのでしょうか。

\*協会指定管理者(上級)研修「1.理学療法士の将来を把握する<協会グランドデザイン構想案をもとに>②医療保険領域」の資料より

## 活動報告

### 地域で勉強会を開催している “うちらば”の活動紹介

ライフサポート部 杉山さおり

会員ライフサポート部  
活動報告 第64報  
職場環境を考える

横浜市港北区の介護老人保健施設ウェルケア新吉田で、定期的に勉強会を開催していると聞き、代表の五十嵐 由香里さんに、開催の経緯や、活動の状況についてお話を伺いました。

職場以外の人との繋がりを作る場としての活動について、5年間の活動を振り返って頂きました。

#### —活動を始めたきっかけは？

病院勤務を経て養成校で9年間教員として働いた後、老健へ移りましたが、横の繋がりがなく、もやもやしていました。育休後の不安もあったので、隣の老健とのつながり作りや他職種との意見交換のための勉強会をするために施設を借りたのがきっかけで、平成25年9月から活動を始めました。

#### —“うちらば”の名前の由来は？

在宅復帰、支援の役割を担う老健で働いて、在宅復帰や在宅生活を続ける方法に、家庭差というか、個人差が大きいと感じ、「利用者にとっての家ってなんだろう？」と疑問に思いました。簡単に言うと、介護度5でも、在宅復帰できる人もいれば、介護度1でも帰れない人もいることが不思議でした。なので、「家（在宅）を研究する」という意味で、家→うち、研究→ラボラリティで、“うちらば”としました。

#### —始めた頃の様子は？

当初、規約作成や人が来なかった場合の対応、広告の出し方、施設の承認を先にもらった方が良かったのでは？という施設側からの意見もあり、もう少し準備をしてからの方がいいのでは？というアドバイスもありましたが、開催してみると、ニーズは一緒に、2回目からの広報にも困りませんでした。

#### —勉強会の頻度は、どのくらいですか？

年3～4回、開催しています。

#### —勉強会の内容は？

半日で講義1時間半、事例検討1時間が基本的な流れですが、ニーズに合わせて運営スタッフで決めています。

参加者からの講師の紹介もあり、5年間講師に困らず、広島から講師を招いたこともあります。事例検討のケース1例は、依頼して出してもらっています。事例検討では、他職種が参加しているため、同じケースをいろいろな視

点で見ることができています。ケアマネから、リハに対する要望が出たり、福祉用具関連の方から用具の紹介があったり、意見を言いやすい雰囲気が出ています。

#### —参加者の内訳は？

平均して20名くらいの参加者で、多い時には50人になることもあります。参加職種は、PT・OTが7割、介護職やナース、ケアマネの参加もあります。摂食嚥下のテーマの時には、歯科衛生士、STの参加も多くなります。

継続して参加されている方が約2割、新規と久し振りの方が4割ずつくらいの参加状況です。当初、港北区と都筑区の予定だったのですが、遠方は千葉から参加される方もいます。

#### —お子さん連れの方も多いですか？

半分くらいです。お父さんがお子さんと一緒に参加することも増えています。

#### —託児はしていますか？

託児はなしで同室にしています。託児室になじめない子もいるので。

託児を付ける場合には、保険などの整備も必要だと思います。

#### —広報は、どのようにされていますか？

3年目から周辺の居宅、病院と連携を取れるようになり、横浜市介護支援専門員連絡協議会の会長との繋がりでケアマネへの告知をお願いしたり、横浜市介護老人保健施設連絡協議会へのFAXでのお知らせ、県士会での告知をお願いしました。病院は、PT同士の繋がりでメールやFAXで連絡しています。

#### —運営は、どのようにされていますか？

運営スタッフ2名とウェルケア新吉田のスタッフで運営しています。

会場提供、活動の承認については、ウェルケア新吉田



のバックアップを受けています。

#### —5年間続けて来ての感想は？

思いの外広がりましたね。

0歳児のうちには、寝ていて勉強会に参加しやすいことがわかったり、こんな不便な場所でも子連れで参加してくれる人がいて、場所は関係ないんだなと思いました。車利用もあり、ベビーカーでバスを使っても参加してくれる人もいます。育休中の女性のモチベーションは高いと感じています。

ディスカッションも積極的で、多職種でディスカッションする場の必要性を感じます。

うちらぼから、シーティング部が立ち上がり、横浜シーティング研究会として、勉強会を開催するようになったのも面白い展開でした。

地域包括センターからSTの派遣依頼が多くあり、勉強会の参加者で依頼を受けてくれる人も出てきています。

#### —今後の課題はありますか？

当初の目的だった地域連携は図れるようになったので、今後は、この繋がりから何かを作り出して、社会貢献活動をして行きたいと思っています。

今後の課題としては、子どもを同席させることのリスク管理があります。

#### —女性が働き続けることについて

私が働いてきた職場は、どこの職場も女性を働くことを受け入れてくれる職場だったので、自分の職場は、贅沢な職場だと思います。

子育てしながら働ける場・力を発揮できる場を作る

よう、環境作りや意識改革に力を入れています。

#### ■編集後記

在宅支援への疑問から、施設間の繋がりを求めて始められた活動が、子連れでも参加できる地域に根差した活動へ広がり、広く共感を得ていることを感じました。

子育てを経験したからこそその視点や発想が活かされた活動は、出産を経験しても働き続けたい女性の後押しになっているのではないのでしょうか。

SNSが発達した今だからこそ、人に深く関わる理学療法士として、改めてリアルな繋がりを大切にして、学び合える環境を増やせるといいのではないかと思います。



スタッフの繋がりでロゴも作ってもらいました。

## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い、  
生活を手助けするものづくりを提供して参ります。

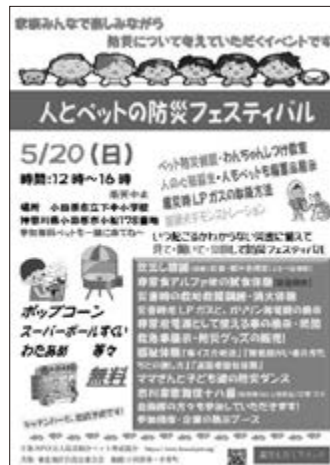
〒247-0006  
横浜市栄区笠間 3-40-5  
TEL 045-892-5424 FAX 045-892-5424  
www.Kimuar-gishi.co.jp

## 活動報告

# 「人とペットの防災フェスティバル」 (小田原市橋北地区) に参加して

県西ブロック災害対策エリアコーディネーター 矢部 則明 (唐木整形外科)

平成30年5月20日(日) ペット防災の啓発に取組むNPO法人「防災ペット育成協会」(以下BSP協会)主催、小田原市橋北地区自治会連合会共催(後援は小田原市・中井町)による「人とペットの防災フェスティバル」が小田原市橋北地区にある下中小学校で開催されました。今回このイベントに神奈川県理学療法士会(県西ブロック)としてブース出展する機会を得られたので、その内容についてご報告いたします。



主催のBSP協会は飼い主とペットが安心して避難できる体制を作る為、昨年8月に発足し県西地区をエリアに行政機関や地域と連携し、イベントやセミナー防災訓練などの参加を通じて、ペットを連れて避難する「同行避難」の普及・啓発活動に取り組まれています。

フェスティバルは小学校の校庭と体育館で行われました。体育館では同行避難に必要な、しつけ教室やペット用品の備蓄品の展示、炊き出し訓練や非常用電源として使える車の展示等に加えキッチンカーや地域のサークル活動のお披露目もあり、家族みんなで楽しみながら防災について考えていける工夫がされていました。

一方、体育館では災害時の救助救護訓練や福祉体験「車イス介助法」「視覚障がい者たちとの接し方」「高齢者疑似体験」のイベントがあり、県西ブロックからは「生活不活発病」「深部静脈血栓症」や県理学療法士会の災害対策への



取組等のパネル展示やパンフレット配布を行い、また災害対策グッズとして段ボールベッドや段ボールトイレ、便利な災害対策の小物等の展示を行いました。

今回は、県西地区リハビリテーション連絡協議会からPT4名が参加、社会福祉協議会スタッフ担当の「車イス介助法」にも少しですが協力もさせていただきました。避難所で使う段ボールベッドへの関心は高く、頑丈さに対する驚きだけでなく価格が高いとのご意見や、サイズの備蓄できないので災害時に急遽大量発注して調達することは可能か、といったご質問も聞かれました。専門的知識のニーズも増えてきており、業者に参加してもらいデモや質問に対応してもらうことも必要です。

防災フェスティバルの参加者人数は概算で約700名、ペットは約200頭とのことでした。交通の便があまり良くない場所にも関わらず多くの方が来場していただけたことから、住民の方の災害に対する意識が高まっている事がわかります。体育館内でしたが私たちのブースにも40名ほどの方が来ていただきました。お子様連れのご家族が多かったのが印象的で、これからは子供にも興味を持ってもらえるような工夫が必要かと思えます。BSP協会は今後も自治体と連携して県西地区を回ってイベントを開催する予定とのこと、県西ブロックもできるだけ参加し、自治体と上手く連携して災害対策支援の土台を築いていくことが今後の活動の課題と考えています。

最後に今回のイベント参加のきっかけを与えていただいた露木理事、BSP協会広報の中川ユーイング社長、段ボールベッドやパンフレットでご尽力いただいた下田災害対策委員長、今回も準備をお手伝いいただいた前田ブロック長、当日手伝いに来ていただいたスタッフに心より感謝の言葉を申し上げます。





# 「川崎南部ブロック 災害時会員安否確認システム試験運用」実施報告

川崎南部ブロック ブロック長・災害対策エリアコーディネーター 佐藤 範佳 (太田総合病院)

平成29年度川崎南部ブロックエリア災害対策事業として、大規模災害時における会員安否確認システムの試験運用を実施しました。その結果を以下にご報告致します。

**【対象】** 平成29年度の県土会会員名簿に登録されている川崎南部ブロックエリアの会員

**【目的】** ①地震、台風、河川氾濫などによる大規模災害時に会員の安否を速やかに確認し、必要な対応が出来るようにするため  
②得られた会員安否情報から支援（人的派遣、物的支援など）に関する方向性を決定するため

**【日時】** 平成30年2月4日（日）18：00実施

**【内容】** 東日本大震災級の大規模災害が発生したと想定川崎南部ブロックエリアにおいて会員が所属している事業所を中心に事業所単位で実施。

事前の説明会で賛同をいただいた事業所代表者様（県土会員）へメールにて試験運用の実施を知らせ、上記日時後、各事業所毎に作成した災害時会員安否確認チェックシートを事業所代表者様のメールに送信した。事業所代表者様には自身の事業所内の会員安否情報を入力していただき、1週間以内に災害時会員安否確認用メーリングリストのアドレス宛に添付して返信をいただいた。

災害時会員安否確認チェックシートおよびメーリングリストは、ブロック内の役員で作成した。メーリングリストはグーグルを活用し、会員個人情報情報はブロック担当者のみが閲覧できる形とした。

**【結果】** 事前に賛同をいただいた21事業所の内、実施の知らせを送信できなかった2事業所を除き、19事業所（会員150人）から情報集約を行った。

- ・事業所単位 68%の返答率 ；  
13 / 19事業所から期限内に報告を得られた。
- ・会員単位 49%の返答率 ；  
73 / 150人の会員情報を得られた。

**【評価】** 良かった点

- ・事業所代表者様から同意を得たことで、実施することが出来た。
- ・災害時会員安否確認チェックシートは、ブロック内の役員で事前に作成し、事業所毎に送信したことで事業所代表者様の情報入力作業そのものは簡単にすることが出来た。
- ・グーグルメーリングリストを活用したことで、コストをかけずに実施することが出来た。

反省点

- ・実施の知らせを送信できない不備があった。
- ・会員情報の扱いについて十分な説明が出来ていなかった。

**【まとめ】** 初めての試験運用の結果としては、一定の成果は得られたのではないかと捉えております。しかし、ブロックエリア内にある全ての事業所を対象とした結果ではなく、実施の知らせを送信できないといった不備もありました。今後はこれらの課題を踏まえて、会員の皆様から十分にご理解をいただきながら、継続的に実施していくことが重要であると考えております。

事業所単位で実施したメリットとして、事業所内の会員安否情報を把握している事業所代表者様からの情報集約は、ブロック強化の観点に一致すると考えます。



# 新人教育プログラム

## 平成30年度新人オリエンテーションを終えて

総務部 新人オリエンテーション係 佐藤 壘 (新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)

去る4月15日(日)午後1時～4時30分まで、神奈川県立保健福祉大学にて、平成30年度新人オリエンテーションが開催され、443名の新人理学療法士の参加を頂きました。

医療福祉の仕事を目指す学生さん達の学び舎である会場でしたが、当日は夢のスタートラインに立った若い理学療法士達の熱気で溢れかえっていました。林 克郎会長の挨拶と本会役員紹介に始まり、本会の活動状況を伝える7テーマの講演が続きました。講師の先生方の熱のこもったお話は、新人ならずとも非常に興味深く拝聴する事が出来ました。学術局新人教育部部長の木村充広先生による『生涯学

習新人教育プログラムについて』は、7月から始まる新人教育プログラム研修を皮切りに認定理学療法士から専門理学療法士へ続く長い道のりを、皆さん、真剣な眼差しで聴き入っていたのが印象的でした。新人会員の皆さんにとっては、日々の忙しい臨床業務に身を費やすことが多いとは思いますが、研究活動や県士会活動にも積極的に参加をしていただければと思います。

末筆ではありますが、貴重な週末にも関わらず、新人オリエンテーションの運営に多大なご協力いただいた県士会事務所の皆さんを始め役員各位に感謝申し上げます。



厚生労働省 介護保険事業状況報告調べ(平成30年2月5日発表)

**訪問看護とリハビリの 東京城南4区実績No.1!!**

# ソフィア訪問看護ステーション

ソフィア訪問看護ステーション (30事業所)  
 ソフィアサービス (4事業所)  
 ソフィアケアプラン (8事業所)  
 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (2事業所)  
 医療法人社団ホームアレー運営支援 (2事業所)  
 行政委託 介護予防事業教室運営 (平成18年～)

訪問看護と在宅医療の教育・研修に特化したWebサイト

訪問看護 EDUCATION PARLOR <http://www.hokan-e-parlor.com/>

訪問看護 パーラー 検索



# 平成30年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成30年度 第2回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：平成30年10月14日（日）  
受付開始時間 9：30～（予定）
- 開催地：麻布大学 8号館7階百年記念ホール  
〒252-5201  
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
- 交通：横浜線矢部駅北口徒歩4分（案内図参照）
- 受講費：本会会員 1,000円  
（受講単位数に関わらず一律1,000円）  
他士会会員 4,000円  
（受講単位数に関わらず一律4,000円）  
当日受付時に徴収いたします。

## 5. 内容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位
10：00-11：00	B-3 統計方法論(高度専門士免除※)	1
11：05-12：05	C-2 運動器疾患の理学療法	1
昼食		
12：55-13：55	B-1 一次救命処置と基本処置	1
14：00-15：00	B-2 クリニカルリーズニング	1
15：05-16：05	E-3 国際社会と理学療法	1

※高度専門士取得の有無が不明な場合は出身校へ問い合わせください。

- 申込方法：事前Web登録方式です。当日受付はできません。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。個々のテーマは独立した研修会ですので各々の登録が必要になります。受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。（媒体は問いません）自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報いただきますようお願いいたします。新人教育プログラム研修会では、受付の際に事前登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

- 申請テーマのキャンセル：事前登録で申請したテーマ以外への変更および

び当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、研修日以前は本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ連絡をお願いいたします。

- 講義資料：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードし必ずご持参下さい。会場での用意はございません。
- 定員：470名（先着順）
- 申し込み期間：申込開始日：平成30年9月10日（月）正午～  
申込終了日：平成30年10月8日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できない場合がありますので注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。会場ホール内での飲食は可能ですがゴミ箱の使用はできかねます。

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科  
E-mail：wood-vil.shimp@kf7.so-net.ne.jp  
新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局  
E-Mail：office@pt-kanagawa.or.jp



# 研修会・講習会

## ●県士会主催

### 平成30年度 基礎理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：姿勢・運動制御の基礎

内容：私達が姿勢を安定させたり意図した運動を遂行したりできる背景には、筋骨格系の構造や機能、神経系の機能、感覚機能、認知機能など、様々な基本的な能力が関わっています。今回の講習会では、ヒトの姿勢および運動制御を理解することをメインテーマとして、これらの基本的な機能が姿勢・運動制御にどのように関わっているかを運動学習や運動イメージなどの知見と合わせて改めて理解したいと思います。また、臨床現場において姿勢や歩行の安定性を得るために多く用いられている杖や歩行器などの歩行補助具について、運動制御の視点からその影響(利点・欠点)をご紹介したいと思います。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：終了

2回目：平成30年12月1日(土) 9時40分～12時40分  
(受付開始：9時20分)

会場：1回目：終了

2回目：神奈川県立保健福祉大学  
(最寄駅：京浜急行県立大学駅から徒歩7分)

講師：渡邊 観世子 先生(国際医療福祉大学)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：終了

2回目：平成30年10月1日(月)～11月21日(水)  
(振込の場合は11月11日まで)  
(4月号の掲載に誤りがありました。お詫びいたします。申し込みの際は御注意ください。)

定員：1回目：終了

2回目：100名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：※1参照

お問合せ先：※2参照

### 平成30年度 内部障害理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：心血管疾患のリハビリテーション

～基本的な知識の整理から最新のトピックスまで～

内容：本講習会では、普段、心臓リハに携わっていない療法士の方々も理解しやすいよう、重要な心臓の解剖や生理学の知識に言及するとともに、ベッドサイドでのアセスメントや運動療法、最近のトピックスについてもお話ししたい。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：終了

2回目：平成30年10月27日(土) 9時40分～12時40分  
(受付開始：9時20分)

会場：1回目：終了

2回目：横浜ワールドポーターズ イベントホールB  
(最寄駅：みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道から徒歩5分)

講師：神谷 健太郎 先生(北里大学 医療衛生学部)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円  
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担く

ださい。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：終了

2回目：平成30年8月27日(月)～10月17日(水)(振込の場合は10月7日まで)

定員：1回目：終了

2回目：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：※1参照

お問合せ先：※2参照

※1 履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

※2 (公社)神奈川県理学療法士会 事務局 E-mail: office@pt-kanagawa.or.jp お問い合わせはメールでお願いします。





## 平成30年度 神経理学療法領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

- テーマ:** 運動学・運動力学的視点からみた、脳卒中片麻痺の理学療法の再考
- 内容:** 近年の脳科学を中心とした神経科学の進歩により、脳卒中患者に対する治療展開の考え方は大きく変わってきているように感じます。一方で変わらないことは、理学療法士は多くの場合が身体外部からの刺激を介したアプローチをするということです。臨床では同じ環境で同じ課題を行っていても、ちょっとしたアライメントや姿勢・筋緊張の違いで、患者の反応が全然違うということをよく経験します。これは、アライメントや姿勢が違うことによって、患者に入る刺激の意味が変わるということではないのでしょうか？最新の知見を理学療法に活かすためには、「セラピストの関わりが患者にとってどのような刺激になっているのか」という側面の理解を深めることも重要です。本講習会では、そのための有用なツールの一つである運動学・運動力学という視点から、脳卒中片麻痺の運動療法を考えていきたいと思います。
- 日時:** 同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。
- 1回目:** 平成30年7月22日(日) 9時40分～12時40分  
(受付開始: 9時20分)
- 2回目:** 平成30年9月9日(日) 9時40分～12時40分  
(受付開始: 9時20分)
- 会場:** **1回目:** 関内新井ホール(最寄駅: JR関内駅から徒歩3分)  
**2回目:** 厚木商工会議所 大会議室  
(最寄駅: 小田急線本厚木駅から徒歩10分)
- 講師:** 溝部 朋文 先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)
- 受講料:** 本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円  
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。
- 申込方法:** 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。
- 申込受付期間:** **1回目:** 平成30年5月22日(火)～7月12日(木)  
(振込の場合は7月2日まで)  
**2回目:** 平成30年7月10日(火)～8月30日(木)  
(振込の場合は8月20日まで)
- 定員:** 1回目: 180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)  
2回目: 180名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)
- 対象:** 理学療法士
- 単位認定:** ※1参照
- お問合せ先:** ※2参照

## 平成30年度 運動器理学療法領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

- テーマ:** 体幹機能改善を目的とした運動療法
- 内容:** 評価方法と運動療法の実際について講義をいたします。座学とデモンストレーションを含んだ内容となります。体幹は頭部・骨盤・下肢が協調的に機能することで適切なパフォーマンスを発揮します。当日は個々の関連性について着目して説明していきたいと思います。特に対象疾患を特定しておりません。各種疾患に対する運動療法へ応用可能な内容です。
- 日時:** 同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。
- 1回目:** 平成30年8月25日(土) 9時40分～12時40分  
(受付開始: 9時20分)
- 2回目:** 平成30年11月17日(土) 9時40分～12時40分  
(受付開始: 9時20分)
- 会場:** **1回目:** 藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール1・2  
(最寄駅: JR藤沢駅から徒歩3分)  
**2回目:** 横浜ワールドポーターズ イベントホールB  
(最寄駅: みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅から徒歩5分)
- 講師:** 鈴木 貞興 先生  
(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)
- 受講料:** 本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円  
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。
- 申込方法:** 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。
- 申込受付期間:** **1回目:** 平成30年6月25日(月)～8月15日(水)  
(振込の場合は8月5日まで)  
**2回目:** 平成30年9月17日(月)～11月7日(水)  
(振込の場合は10月28日まで)
- 定員:** 1回目: 180名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)  
2回目: 180名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)
- 対象:** 理学療法士
- 単位認定:** ※1参照
- お問合せ先:** ※2参照

# 研修会・講習会

## ●県士会主催

### 平成30年度 研究支援部講習会のお知らせ

**テーマ：**統計ソフトの使い方～統計ソフトRを用いた入門演習

**内容：**臨床データを学会などの発表の形にまとめるのに統計ソフトは有用ですが、多くは高価であるため個人で所有することが困難です。「統計ソフトR」は無料公開されている統計ソフトですが、「使い方がわからない」という声を多く耳にします。そこで本講習は、実際に「R」をインストールしたPCを使った演習を1から行います（高齢者の理学療法を題材）。

**注意事項：**受講者はノートPC（windows）に「R」をインストールした上でご来場ください。インストールは統計科学研究所のページを参考に行ってください。[http://www.statistics.co.jp/reference/software\\_R/free\\_software-R.htm](http://www.statistics.co.jp/reference/software_R/free_software-R.htm)

**日時：**平成30年11月18日（日） 9時00分～12時00分  
（受付開始：8時30分）

**会場：**調整中

**講師：**上出 直人 先生（北里大学 医療衛生学部）  
池田 崇 先生（昭和大学 保健医療学部）

**アシスタント：**金子 敬弘 先生（けいゆう病院）  
野口 悠 先生（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院）

**受講料：**本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

**申込方法：**日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

**申込受付期間：**平成30年9月18日（火）～10月30日（火）（振込の場合は11月8日まで）

**定員：**40名（予定）（先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。）

**対象：**理学療法士

**単位認定：**※1参照

**お問合せ先：**研究支援部窓口担当 kenkyushien@pt-kanagawa.or.jp

## ●他団体

### 触診から紐解く大腿骨頸部骨折の評価とアプローチ法 ～触診から大腿骨頸部骨折のリハビリを選択できる様になる～

**テーマ：**大腿骨頸部骨折の病態を理解し、評価から適切なアプローチを選択できるようになる。

**内容：**

- 1、大腿骨頸部骨折の病態について
- 2、介入の際の注意点・リスク管理
- 3、手術の目的
- 4、評価
  - ・目的 痛みがあることで困っていることがあるか、痛くなければどうしたいか
  - ・問診 疼痛の範囲、程度（VRS、NRS、FS）
  - ・触診 筋緊張（腹部、背面、側面）
  - ・姿勢観察 座位、立位での観察のポイント
  - ・動作観察 立位の片脚立位
  - ・整形外科テスト
- 5、評価から抽出された問題点に対する介入法  
関節モビライゼーション、筋膜リリース、DS法

**開催日時：**平成30年9月16日（日） 10時00分～16時00分

**会場：**※3参照

**受講料：**15,000円（税込）

**講師：**林 凌磨 理学療法士

**定員：**24名（先着締め切り）  
（講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。）

**注意事項：**お申込みはセミナーHPよりお願いします。  
<http://lts-seminar.jp/neckfracture/>

**お問合せ先：**※4参照

※3 ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー  
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

※4 療法士活性化委員会 事務局加藤まで [lts-info@lts-seminar.jp](mailto:lts-info@lts-seminar.jp)



## ●他団体

### 評価の抽出とスクリーニング検査法

～ 30分でサマリーが書ける様になり、10踏んでスクリーニングができる様になる。～

テーマ：対象の動作の問題点を明確にし、適切なアプローチを選択できる様になる

内容：・評価の抽出方法  
(動作・歩行の行程分析表を用いて抽出を行います)  
・5分で終わるスクリーニング検査  
(BRS・ROM・MMT・バレー兆候・協調性・高次脳検査・認知面を含めたスクリーニング検査を5分でできるように練習します。)

開催日時：平成30年9月15日(土) 10時00分～16時00分

会場：※3参照

受講料：15,000円(税込)

講師：加藤 淳 作業療法士  
セロトニントレーナー

定員：24名(先着締め切り)

(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。  
<http://lts-seminar.jp/assessment/>

お問合せ先：※4参照

## ●他団体

### 立ち直り反応からみる基本動作分析とアプローチ法 ～基本動作分析のポイントとアプローチ、ハンドリング法～

テーマ：基本動作分析から問題点を抽出し、評価、アプローチができる様になる

内容：AM：基本動作分析  
・基本動作分析に必要な4つのポイント  
・基本動作分析で追求する問題点3つ  
・寝返り動作をシンプルにみる方法  
・実技練習

PM：評価とアプローチ

・関節モビライゼーション(肩甲胸郭関節、脊柱)  
・筋膜リリース(大腰筋)  
・DS法(仙腸関節)  
・動作分析を歩行に繋げる方法

開催日時：平成30年8月18日(土) 10時00分～16時00分

会場：※3参照

受講料：7,900円(税込)

講師：大塚 久 理学療法士  
平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。  
他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)

(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。  
<http://lts-seminar.jp/risingup/>

お問合せ先：※4参照

## ●他団体

### 【触診が苦手な方限定】第8期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 3ヶ月で触診とアプローチ法を習得。信頼される療法士の土台を作る。

テーマ：触診を通して患者様・利用者様のリハビリをデザインできるようにする。

内容：1か月目 体幹編 2か月目 上下肢編1 3か月目 上下肢編2  
それぞれ触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース・症例検討等を行います。

\*詳しい内容はHPよりご確認ください。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

開催日時：第8期 10月6,7日 11月3,4日 12月1,2日  
9時30分～16時30分

\*日程の都合がつかない場合は別の日程へ振替も対応いたします。

会場：※3参照

受講料：6日間で59,800円(税込)

\*テキスト代含む \*分割でのお支払いも可能です。

講師：大塚 久 理学療法士  
平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。  
他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)

(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。  
<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

お問合せ先：※4参照



## 第35回神奈川県理学療法士学会

# 平成29年度事業意見交換会を終えて

去る3月25日（日）に開催された第35回神奈川県理学療法士学会終了後の18時15分から20時15分まで、パシフィコ横浜6階ベイブリッジカフェテリアで、平成29年度の事業意見交換会が催されました。事業意見交換会は、本会の事業発展に会員の意見を反映したく、広く意見交換できる場として、毎年県学会の終了後に会費制で開催しております。今年度からは総務部担当の事業となり、事前の準備や進行に手間取った事も有りましたが、県士会事務職員や学会スタッフの皆様の多大なご協力をいただき、無事に開催する事が出来ました。参加者も本会役員はじめ学会参加者、学会スタッフ、賛助会員等々、昨年を13人上回る54人の方々に出席をして頂き、担当としては少しホッとしています。

窓の外に広がる素晴らしい夜景のもと、林克郎会長の挨拶に始まり、第35回学会の大森豊学会長の学会終了報告と続き、神内擴行相談役の発声による乾杯を合図に、和やかな雰囲気のもとお酒や食事を楽しみました。合間には次期学会長の湯田健二学会長と準備委員の皆さんに

よる成功に向けた決意表明や出席いただいた賛助会員の皆さんのスピーチが行われ、和やかな雰囲気のうちにも本企画の趣旨でもある本会役員と会員との忌憚のない意見交換が、会場の随所で活発に行われていました。最後の締めは、お馴染みの炭孝昭神奈川県理学療法連盟会長による一本締めで閉会となりました。

事業名が“事業意見交換会”と少々堅苦しく、ちょっと参加しにくいイメージが有りますが、企画の趣旨は“忌憚のない意見交換の場”です！来年は、更に多くの会員の方々が気軽に参加して頂ける企画にしていきたいと考えておりますので、請うご期待ください。

末筆ではありますが、事業意見交換会の運営に多大なご協力をいただいた県士会事務所職員や第35回県学会スタッフの皆様を始め、参加して頂いたすべての会員の皆様に、深く感謝申し上げます。

総務部 木下尚久  
(新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)





## 学会賞ノミネート演題抄録

2015年度より、神奈川県理学療法士学会の学会賞にノミネートされた演題の抄録を掲載することになりました。神奈川県理学療法士協会のホームページより抄録をダウンロードすることができます。今後、演題発表する方の一助になればと思っております。

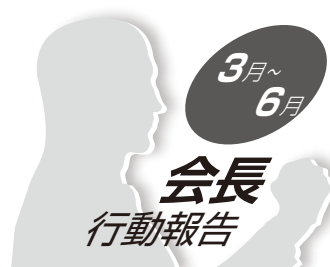
演題名 : 急性期に運動失調を呈する症例における早期の歩行獲得を阻害する要因の検討  
 所属 : 横須賀共済病院  
 名前 : 佐藤広輔、松元努、吉田直心、伊東純之介、伊東祐樹、惣田洋、野々垣学

演題名 : 左脳梗塞後、Pusher現象により座位保持困難であった症例～意識障害例に対する視覚を利用した治療～  
 所属 : 海老名総合病院  
 名前 : 坂元優太、佐藤拓、湯田健二

演題名 : 脳卒中急性期における無動力歩行支援機ACSIVEの適応について  
 ～stiff knee patternの改善にACSIVEが有用だった一症例～  
 所属 : 秋山脳神経外科病院  
 名前 : 木村賢人、坂本昌紀

演題名 : 心筋梗塞患者における運動耐容能と脚伸展筋力の関連  
 ～5Metabolic Equivalents以上の獲得に必要な脚伸展筋力水準～  
 所属 : 1)川崎市立多摩病院、2)聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、3)聖マリアンナ医科大学東横病院、  
 4)聖マリアンナ医科大学病院  
 名前 : 小岩雄大<sup>1)</sup>、根本慎司<sup>2)</sup>、笠原西介<sup>2)</sup>、吉沢和也<sup>2)</sup>、赤尾圭吾<sup>3)</sup>、桑村雄偉<sup>3)</sup>、武市尚也<sup>4)</sup>、渡辺敏<sup>4)</sup>

演題名 : 地域在住自立高齢者の努力性肺活量および1秒量には認知機能が影響する  
 所属 : 1)北里大学東病院、2)北里大学医療衛生学部、3)北里大学大学院医療系研究科  
 名前 : 前田拓也<sup>1)</sup>、上出直人<sup>2,3)</sup>、戸崎精<sup>1)</sup>、柴喜崇<sup>2)</sup>、佐藤春彦<sup>2,3)</sup>、坂本美喜<sup>2)</sup>



月	日	内容	場所
3月	15日(木)	東京オリンピック・パラリンピック準備委員会	本会事務所
	22日(木)	第8回事業運営会議	本会事務所
	25日(日)	第35回神奈川県理学療法士学会	パシフィコ横浜
	26日(月)	かながわパラスポーツ普及推進検討会	県庁
	27日(火)	神奈川県リハビリテーション協議会	情報文化センター
4月	5日(木)	第1回常任理事会	本会事務所
	7日(土)	(公社)日本理学療法士協会理事会	TKP赤坂駅カンファレンスセンター
	8日(日)	(公社)日本理学療法士協会拡大組織運営会議	TKP赤坂駅カンファレンスセンター
	15日(日)	新人オリエンテーション	神奈川県立保健福祉大学
	22日(日)	職能局研修会	横浜リハビリテーション専門学校
	22日(日)	田村ゆうすけ県会議員県政報告会	JA横浜瀬谷駅前店
	25日(水)	島村大参議院議員国政報告会	崎陽軒本店
	26日(木)	第1回事業運営会議	本会事務所
5月	10日(木)	第2回常任理事会	本会事務所
	12日(土)	横浜市立大学医学部リハビリテーション科創立50周年記念祝賀会	横浜ロイヤルパークホテル
	13日(日)	監査会	本会事務所
	13日(日)	本会事務職員採用面接	本会事務所
	15日(火)	第1回理事会	本会事務
	16日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	神奈川県臨床工学技士会事務所
6月	20日(日)	(公社)日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会	PT協会田町カンファレンスルーム
	2日(土)	(公社)日本理学療法士協会定時総会	ベルサール汐留
	3日(日)		
	7日(木)	第3回常任理事会	本会事務所



## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

### 【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定年会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 年会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

\*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

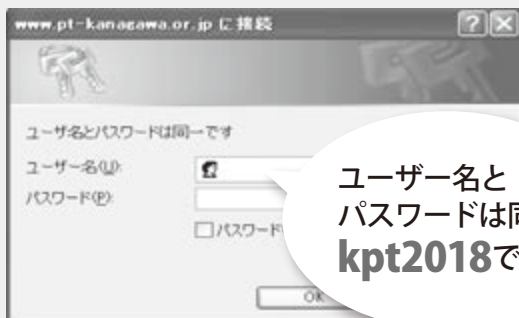
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## アクセス認証のパスワードが必要になります！



2018年7月15日からパスワードが変更します

(8月15日までは旧パスワード kpt2017 でも閲覧可能)

本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

## 県学会レター

第36回神奈川県理学療法士学会のおしらせ vol.1 担当：県央ブロック

### 学会テーマ『みんなで築こう顔のみえる関係づくり』

学会長 湯田 健二 海老名総合病院

本学会は全ての現場で活躍するセラピストが  
日常の枠を越え自分の考えや想いを声にする場

です。そして、その声を聞いたセラピストも共に考え、建設的な意見交換が出来る  
場となれば幸いです。顔のみえる関係づくりの始まりです。

会期と会場

平成31年3月24日(日)

パシフィコ横浜 4階5階

#### ◆プログラム

口述・ポスター発表・教育講演・シンポジウム・県民公開講座・県士会活動報告

※口述及び、ポスター発表はどんな分野の演題でも受け付けます。日々の業務の課題や取り組みを  
まとめ、多施設の仲間と共有し考える場としてご活用ください。

#### ◆託児所は今年度も設置される予定です。

学会会場に隣接しており、専門のスタッフが対応してくれます。小さなお子様の  
いらっしゃる皆様、ぜひご活用下さい。

#### ◆平成30年度準備委員会メンバー

[学会長]湯田健二(海老名総合病院)

[副学会長・準備委員長]

淵橋潤也(愛川北部病院), 秋山泰大(湘陽かしわ台病院)

[財務係] 相川浩一(ジャパンメディカルアライアンス), 中橋真弓(東名厚木病院)

内堀智美(桜ヶ丘中央病院)

[運営係] 重田直哉(亀田森の里病院), 川越潤一(桜ヶ丘中央病院), 大泉武志(湘南厚木病院)

斉藤慶太(みどり野リハビリテーション病院), 風間健二(みどり野リハビリテーション病院)

[学術係] 平塚哲晃(座間整形外科), 丸山拓朗(座間整形外科), 渡辺武宏(綾瀬厚生病院)

[IT係] 中野靖士(亀田森の里病院)

[総務係] 橋本健太郎(東名厚木病院), 高須孝広(座間総合病院), 石田泰浩(海老名総合病院)

**演題募集期間**

**平成30年8月1日～9月30日**

県学会ホームページからオンライン登録となります

登録期間の延長は予定しておりませんので、お早めのご登録を宜しくお願い致します

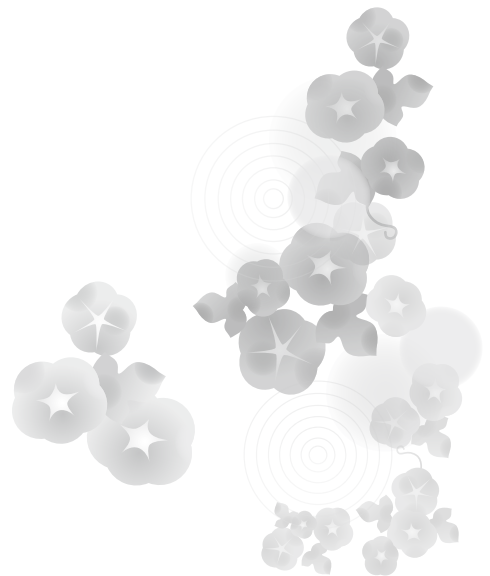
## 編集後記

アメリカメジャーリーグで二刀流の野球選手として、大谷翔平選手が活躍しています。投手としても、打者としても超一流であり、いち野球ファンとしてはその才能に感嘆するばかりです。彼の活躍を見ていると、今から20年ほど前、私が大学生の頃、とある大学の先生に頂いた言葉を思い出します。「君はエースで、4番を目指さなくてもいいんだよ。君のポジション、打順を見つけて、そこで頑張ればいい。」若さのあまり、夢と希望と勢いと無謀さで突き進んでいた時期で、あれもこれもそれぞれども、なんでもやってやろうとしていた時期でもありました。今思えば「エース」になる能力も、「4番」を打つ才能も持ち合わせていなかったと思います。あの言葉で自分の足元をしっかりと見られたような気がします。今号の巻頭言では、私の元同僚であった石川さんが強い想いを書いてくださいました。しっかりと足元を見て、目の前の患者様と向き合い、将来の理学療法について考えながら日々取り組んでいる、そんな先生の姿勢に敬意を表する次第です。そして私自身の役割についても強く考える機会となりました。現在私は教員となりましたが、20年前のあの言葉を胸に、自分の立ち位置を意識し、自分にしかできない役割をしっかりと遂行していこうと思っています。今は選手ではなく、いわばランナーコーチャーでしょうか。教員として学生にストップサインとゴーサインを的確に出し、しっかりと想いをもちた学生を育てること、それが将来の理学療法のための、私の大事な役割だと思っています。 (中尾)

次号の原稿締め切りは平成30年**9月6日**です。  
 湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 (ニュース編集部宛)  
**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**  
 〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉  
 ※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしく  
 お願いいたします。

### ◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)  
 部長：森尾 裕志 (湘南医療大学 保健医療学部)  
 部員：中尾 陽光 (湘南医療大学 保健医療学部)  
 下田 栄次 (湘南医療大学 保健医療学部)  
 中村 壽志 (湘南医療大学 保健医療学部)



**SP-i**

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

**湘南義肢研究所**

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>